

予測できない事故に備えて

【園芸施設共済】

ハウス7棟（13畝）でホウレンソウの栽培と水稻の育苗をしています。もしもの事故に備えて2013年、ハウスを建てた当初から園芸施設共済に加入しています。

昨年1月の突風でハウス2棟の屋根面全体が破れ、共済金を受け取りました。ホウレンソウの種をまく前だったので作物への影響はなかったものの、自然の力の怖さを実感しました。加入していて良かったです。

ハウスの被害対策として、積雪で倒壊しないようにハウス内の土壌に水をまいています。これで室内の温度が下がりにくく、ハウスの屋根に雪が積もるのを防いでいます。

小さな被害でもNOSA Iに連絡しています。支払い対象にならないこともありますが、農業は自然を相手にしているので、予測できない事故に備え加入は必要だと思います。

これからは田植えのシーズンなので、苗の準備をしている最中です。今年も無事に移植できることを願っています。

▷水稻13畝、ハウス7棟・13畝（ホウレンソウ・水稻育苗）

（農業共済新聞 中国版 2022年5月4週号より）



福山市駅家町

合同会社 坪井農園

代表社員 坪井 翔伍さん（29歳）